

BRAUN, Peter



ペーター・ブラウン

「ArmbandUHREN」編集長。1960年11月19日/ドイツ、ナーコルト生まれ。①ドイツ市場に向けた自動車専門誌の翻訳者(英、仏)としてキャリアをスタートさせた。②1992年「FERRARI WORLD」編集長を経て、93年より「ArmbandUHREN」編集長。1994年より年に一度刊行され、世界中で8カ国語に翻訳されている「ArmbandUHREN Katalog」の編集を担当。その他、フリーランスとしてインターネットや、日本を含むさまざまな国の刊行物に寄稿している。③父からもらったオリエントの自動巻き。父は昔、ホンダとスキのバイクレイサーをしていたので、日本の技術力をとても尊敬しています!④ジャガー・ルクルト「デュオトル・クロノグラフ」。古典的な見た目と興味深いムーブメント(伝統に則りながらも非常に先進的)を見事に融合。驚異的なモデルだ!

BRUNNER, Gisbert L.



ギズベルト・L・ブルーナー

ジャーナリスト。1947年7月6日/ドイツ、アルプスハウゼン生まれ。①ミュンヘンのルードヴィヒ・マクシミリアン大学で、法学、心理学、教育学の学位を取得。1970年代中頃から機械式時計の収集を始める。81年より、雑誌「Alte Uhren」の編集者。83年、腕時計についての著書「Wristwatches」を執筆(3人の共著)。②主な著書に「Armbanduhren - Vom ersten Chronometer am Handgelenk zum begehrten Sammlerstück」(90、98年)、「Corum - Passion For Design」(93年)、「Eterna 1856 - 2006」(2006年)など。③64年のホイヤー「カララ」。④47年製のSSケース、手巻きモデル。ジュネーブ時計学校の著名入りで、パテック フィリップのムーブメントを搭載。私が生まれた年に製造された極めて上質な腕時計。

BUETLER, Adelbert



アーデルベルト・ビュートラー

ベハラ・グループ CEO。①スイスにて見習い経験を積んだ後、研究のためにイギリスやアメリカへ渡る。再び、スイスに戻り、国内で最も大きな百貨店グループのバイヤー、ストアマネジャーおよびバイイングディレクターとして活躍。1994年よりベハラ・グループのCEOに就任。ラグジュアリーウォッチとジュエリーではヨーロッパ最大のマルチブランドリテラーとなる。②ウォッチブランド、カール F. プラハの創設。9店舗を展開するドイツへの拡大。③エテルナマッチ。④ローズゴールド製のカール F. プラハ「ナメロ」。この時計は4つの複雑機構を搭載した独自のムーブメントを持ち、最高の商品であるばかりでなく、ビジネスマンに最適である。

CALCE, Antonio



アントニオ・カルセ

コルム ジェネラルマネジャー。1967年4月19日/スイス、ヌーシャテル生まれ。①技術学校で技術者としての資格を取得後、大学でビジネスマネジメントの学位を修める。1994年にリシュモングループに入り、ロジスティック、製造担当マネジャーを歴任。2000年にパネライとピアジェの開発担当役員となる。05年9月、コルムに副社長として入社。07年より現職となる。②会社組織の再構築と新製品戦略など。③自身の作品。④コルムの「アドミラルスカップ・クロノ44・チャレンジ」と「アドミラルススキャップ・コンペティション48」で迷ってしまう。

CHATTI, Hamdi



ハムディ・チャティ

ハリー・ウィンストン・レアタイムピース社 マネジングディレクター。1967年8月16日/スイス生まれ。①リシュモングループのさまざまな腕時計部門でカルティエ、モンブラン、ピアジェなど、有名ブランドを手がける。②ウエストミンスター・トゥールビヨンやオーパス6&7など、ひととき優れた究極の腕時計を作ることで、ハリー・ウィンストンのスピリットをいつも維持するように努めています。③スイスでは学校へ上がるとすぐにスイス製の時計をもらうのですが、私の場合はタイバースウォッチでした。また、私にとって最初のウォッチ(1983年前半の最初期のモデル)もまだ持っています。④2004年9月に発売された自社ブランドの「Z4」。モダンで上流のライフスタイルにぴったりの完璧な時計だから。

CLARET, Christophe



クリストフ・クラレ

クリストフ・クラレ 社長。1962年9月11日/フランス、リヨン生まれ。①1989年、ラ・ショー・ド・フォンにクリストフ・クラレSAを設立。94年、生産部門(製造部門)を設立。98年、ル・ロクルの大きなマナーハウス(邸)「Soleil d'Or」を買収し本社とする。2001年、「Soleil d'Or」に別館を建設。製造ワークショップもラ・ショー・ド・フォンからここへ移転し、生産能力が向上。②最新鋭のCNCマシンを導入し、06年には社員が90人に達する。③バーゼル・フェアとS.I.H.H.の顧客のために何年もかけて製作したスイスブランドの最高級品。④自身のワークショップで製作したユニークな時計。

DEVINE, W. J. Gerard



ウィリアム・ジョン・ジェラルド・デヴァイン

ベダ&カンパニー CEO。1966年12月7日/イギリス生まれ。①多国籍企業デボン・ドゥ・ヌムール社の財務分析官、プライス・ウォーター・ハウスの上級コンサルタントを経て、モントレ・ユニバーサルおよびロベルジュ・ウォッチの専務兼取締役メンバーとなる。その後、ドゥ グリゴソ社の営業およびマーケティング担当役員を経験し、現在はベダ&カンパニーのCEOである。2002年にはバーゼル・フェアのショーディレクターも担当した。②ベダ&カンパニーのさらなる成長へのプランを設定。③ティソ。④ベダ&カンパニー「No.3」(メンズノー・GMT)。クラフツマンシップと美しいスタイルの融合が秀逸。

BONATI, Angelo



アンジェロ・ボナーティ

パネライ CEO。1952年2月27日/イタリア生まれ。①1971年、宝飾業界からキャリアを始める。80年にはイヴ・サンローラン、エベル、ダンヒル等を擁するタボコ インターナショナルへ移籍(後にカルティエ グループに参入)。94年までカルティエのイタリア市場担当セールスマネジャーを務めた後、ラグジュアリー業界を離れ、ファッションの分野へ移る。97年、当時、リシュモン エグゼクティブ ボードディレクターで、オフィチーネ パネライの社長でもあったフランコ・コロニエ氏とパネライを再建するために、インターナショナルセールス&マーケティングマネジャーとしてヴァンダムグループ(現リシュモングループ)へ戻る。2000年より現職。②パネライの発展と世界規模での成長に貢献。③ロジンジのエクストラフラット。④もちろん、パネライ! なぜなら、パネライこそ我が人生だから。

BRESCHAN, Matthias



マシアス・ブレスヤン

ハミルトン インターナショナルプレジデント。1964年9月17日/オーストリア生まれ。①1996年からスウォッチ グループにてセールスマネジャーとなり、後にインターナショナルセールスディレクターとなる。99年にALDIマルシェのマネジングディレクターに就任。2003年6月より現職。②ハミルトン本社がアメリカからスイスに移行した際、ラインナップの約90%を見直し、商品構成の明確な差別化を行った。同時に、「カーキ」と「アメリカンクラシック」というラインを生み出す。③スウォッチ。④ハミルトン「ベンチャーラ50周年オートマティック」。ハミルトンのバイオニアスピリットを象徴するモデルなので。

BUCHER, Rüdiger



リュディガー・ブーハー

クロノドスイツ版 編集長。1967年7月7日/ドイツ、フルダ生まれ。①1985年、フリージャーナリストとして活動。クロノスの副編集長を経て2005年、同編集長に就任。②06年、「「Legendary Watches」: IWC Pilot's Watches」(編集:リュディガー・ブーハー、クリスチャン・ファイファーベリ)。③8歳の時のカトリック教会で、初めての聖体拝領のときに贈られた黒い文字盤のタイムクス。④ロレックス「コスモグラフ デイトナ」、オメガ「アワービジョン」、A.ランゲ&ゾーネ「ラング1」。ロレックス:ムーブメントの構造と高い信頼性と精度。オメガ:よく出来た新しいマニュファクチュールキャリアー8500。デザインの美しさ。ランゲ1:13年にわたり魅了し続けている見事なコンセプト。デザインとムーブメントの美しさが調和。

BÜSSER, Maximilian



マキシミアン・ブッサー

MB&F 創設者兼CEO。1967年1月21日/イタリア、ミラノ生まれ。①スイス工科大学にてマイクロテクノロジーを修める。1991年から98年までジャガー・ルクルトに在籍。プロダクトマネジャーとインターナショナルマーケティングマネジャーを経験。98年からハリー・ウィンストンにてマーケティングディレクターに就任。2005年にMB&Fを創設してCEOとなる。②07年「オロジカルマシーンNo.1」を発表。08年に「オロジカルマシーンNo.2」を発表予定。③6歳のとき手に入れたジャック・ペレの手巻き。または22歳のときに買ったエベルのクロノグラフ(SSケース、エル・ブリエム搭載)。④次に作られる「オロジカルマシーン」です。

CHAN, Kenny



ケニー・チャン

ザアワールグラスグループ マネジングディレクター。1953年10月20日/マレーシア、イポー生まれ。①1992年、バーバリー・シンガポールおよびオーストラリアのマネジングディレクター。2002年、ザアワールグラスグループのCOOに就任。04年より現職。②グループ連結収入の総成長率が03会計年度以来、9.7%成長。03~07会計年度の純利益が6倍に増加。総成長率にして48.4%。07年9月開催の「TEMPUS」では、総額1億ドル以上の時計が展示され、5日間で5万人以上の来場者を見込んだ。06年、ザアワールグラスは、シンガポールの証券投資家によって最も透明な企業として表彰された。③ロレックス。④パテック フィリップ「ワールドタイム」。よく旅行をするので、この時計なら、異なる時間帯でもプッシュボタンを押すだけで、すぐに時刻が分かるから。

CHEONG, Bernard



ベルナルド・チョン

シンガポールのコレクター、時計ジャーナリスト。1958年4月10日/シンガポール生まれ。①医学博士。②セイコー機械式クロノグラフ(1972~76年)、オメガ(70年代~現在)、F.P.ジュルヌ、ウルヴェルクなど。③両親から7歳のときに贈られたシチズンの機械式モデル。自身でチョイスした初めての時計はセイコーの自動巻きクロノグラフ(1973年製)。④ハリー・ウィンストン「オーパス5」。このモデルはクリス・ナルタンなどが積極的に採用するシリウム製パーツがラグジュアリースーパーウォッチの価値基準を大きく変えようとしている中で、旧来からあり、今や瀕死の状態にあるプラス/スティール製テンワと耐震装置を採用する最後のスーパーウォッチになるでしょう。シリウムの技術が時計産業に出現してから、機械加工のエッジ/パーツの耐性は、かつてのそれと同じレベルに戻ることはありません。そういった意味で貴重なモデルといえます。

DE HAAS, Anthony



アントニー・デハス

A.ランゲ&ゾーネ 商品開発ディレクター。1968年/オランダ生まれ。①1997年、オランダからスイスに渡り、IWCの時計師となる。99年にルノー・エ・パピエへ移籍。セールス、マーケティング、人材開発の責任者となり、パピエの一員としてトゥールボグラフの開発に携わって2004年初め。A.ランゲ&ゾーネ社長のファビアン・クロネ氏に誘われ、同社に移籍。②05年に発表された「トゥールボグラフ "ブルー・ル・メリット"」。③私の最初の時計は、自動巻きのステンレススチール製「セイコーファイブ」でした。それは両親からのプレゼントでした。④商品開発者としては、私の一番好きな時計はまだこれから登場するものです。既存の腕時計では、黒文字盤でプラチナケースの「ダトグラフ」を挙げたいと思います。バランスの良いデザインとムーブメントの精巧かつ独創的な設計はまさに私のナンバーワンです。